

4 事後調査の結果の概略

本調査では平成30年4月～令和2年3月の平面部及びアンダーパス部における道路建設作業に伴う騒音・振動、地盤、水循環及び廃棄物の各項目についてとりまとめた。

(1) 騒音・振動（騒音）

道路用地境界における事後調査結果の各工種の最大値(L_{A5})は、65～73dBであり、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」（以下「環境確保条例」という。）に基づく指定建設作業に適用する勧告基準(80dB以下)を下回った。

評価書の予測結果と事後調査結果を比較すると、調査地点No.2では予測結果を上回り、調査地点No.1,3,5では予測結果と同程度、調査地点No.4,6では予測結果を下回った。

調査地点No.2で予測結果を上回った理由として、土工（掘削・積込み）と街築工（路面排水施設設置）を同時に実施したため、予測条件よりも建設機械稼働台数が多かったことが考えられる。

調査地点No.4,6で予測結果を下回った理由として、予測地点の設定位置が建設機械から5mであったのに対し、事後調査時の調査地点が施工範囲から離れており、距離減衰の影響を受けたことなどが考えられる。

(2) 騒音・振動（振動）

道路用地境界における事後調査結果の各工種の最大値 (L_{10}) は52～58dBであり、環境確保条例に基づく指定建設作業に適用する勧告基準（70dB以下）を下回った。

評価書の予測結果と事後調査結果を比較すると、地点No.1,2,5では予測結果を下回り、調査地点No.4では予測結果と同程度であった。

調査地点1,2,5で予測結果を下回った理由として、予測地点の設定位置が建設機械から5mであったのに対し、事後調査時の調査地点が施工範囲から離れており、距離減衰の影響を受けたことなどが考えられる。

(3) 地盤

山留め工では親杭の支持層としての強度が十分に満たされている武蔵野礫層(N値50以上)の適切な深さまで打設していること、地盤に係る事後調査結果から、本調査期間中にアンダーパス部の掘削工事の実施に伴い地盤の沈下隆起や杭間水平距離に著しい変化は見られないこと、また、地下水位に係る事後調査結果から、降雨の影響はあったものの工事の実施に伴い地下水の流況に著しい変化は見られないことから、予測結果と同様に、掘削に伴う地盤の変形は生じていないものとする。

(4) 水循環

アンダーパス部での山留工法は親杭横矢板(一部アースアンカー併用)工法を採用しており、親杭は地下水の流況等を阻害しないよう1.5m間隔に設置していること、地下水位に係る事後調査結果から、降雨の影響はあったものの本調査期間中にアンダーパス部の掘削工事の実施に伴い地下水の流況の変化は見られないことから、予測結果と同様に、地下水位の変化は小さいものとする。

(5) 廃棄物

工事に伴い、コンクリート塊を530.5m³、アスファルト・コンクリート塊を174.5m³、その他がれき類（路盤材）を190.4m³、木くずを113.0m³排出した。

また、土工及び山留め掘削工により建設汚泥を17.9m³排出した。

排出した廃棄物はすべて再資源化施設に搬出した。

建設発生土については3,008.5m³発生し、一部(1,050 m³)は現場内で再利用した。残り(1,958.5m³)は公共工事等の建設発生土の利用機関である建設資源広域利用センターに搬出し、発生土の再利用を図った。

発生した廃棄物及び建設発生土の再資源化率及び再利用率は、すべて100%であった。

5 その他

(1) 事後調査を実施した者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地並びに事後調査委託を受けた者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

【実施者】

名 称：東京都

代 表 者：東京都知事 小池 百合子

所 在 地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

【受託者】

・平成30年度（平成30年4月～11月）実施分

名 称：東洋技建株式会社

代 表 者：代表取締役 榎本 敦幸

所 在 地：東京都千代田区神田小川町二丁目 6 番 3 号

・平成30年度～令和元年度（平成30年12月～令和2年3月）実施分

名 称：株式会社 豊産業

代 表 者：代表取締役 三尋木 文人

所 在 地：神奈川県横浜市中区西竹之丸 27 番地

(2) 添付資料等一覧

ア 事後調査の結果

① 騒音（別紙1）……………p.7

② 振動（別紙2）……………p.35

③ 地盤（別紙3）……………p.47

④ 水循環（別紙4）……………p.61

⑤ 廃棄物（別紙5）……………p.69

⑥ その他の環境保全のための措置の実施状況（別紙6）……………p.74

イ 環境影響評価手続等の状況（別添1）……………p.81

ウ 事後調査の進捗状況（別添2）……………p.83

(3) 連絡先

ア 名 称：東京都北多摩北部建設事務所

イ 所 在 地：東京都立川市柴崎町 2-15-19

電話番号：042-540-9513

ウ 担当部署：工事第一課環境対策担当